

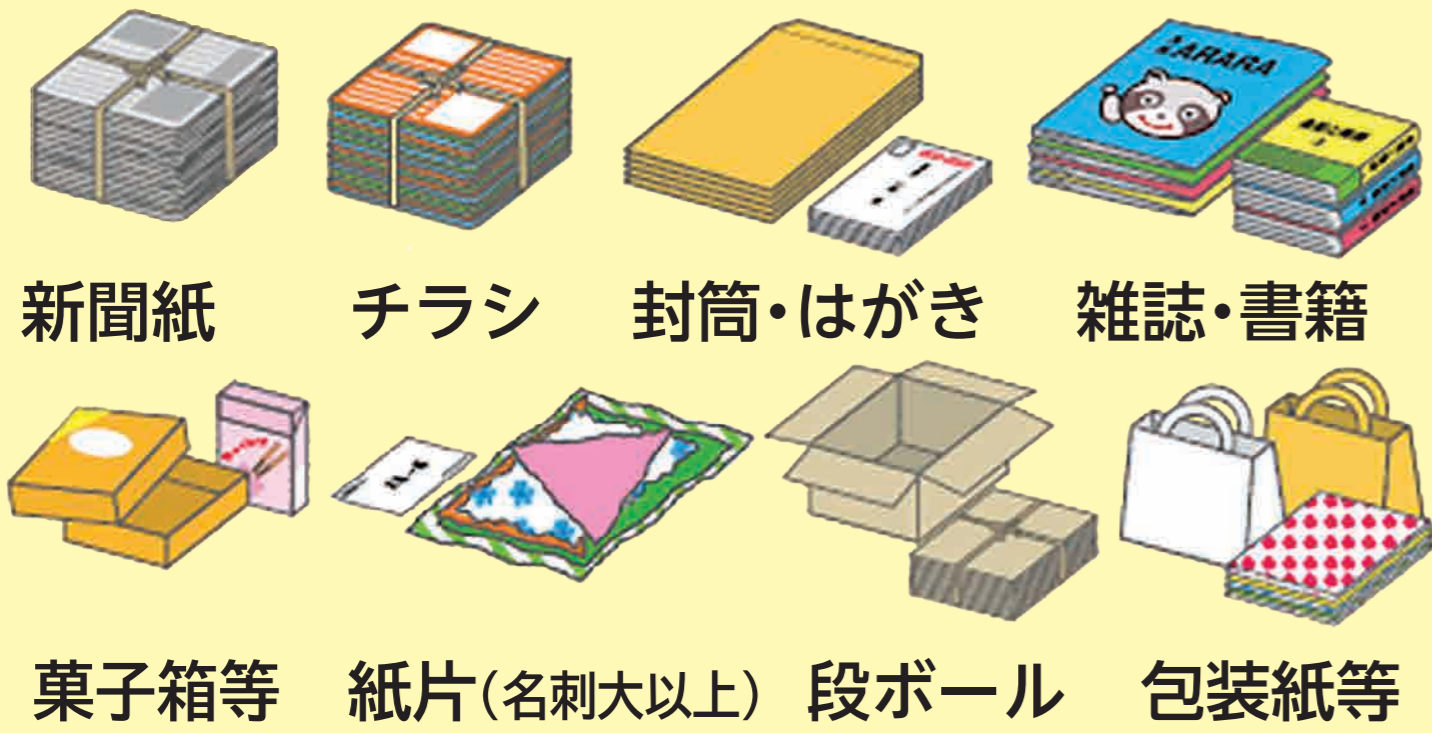
ごみの減量

自分にできることを 増やしていこう!

紙ごみはまず分別

名刺大以上の紙片は資源ごみです。
チラシ、菓子箱、封筒、はがき等も資源ごみとして出せば再利用できます。
資源化可能な紙類は、きちんと分別して資源ごみとして出しましょう。

資源化可能な紙類の例

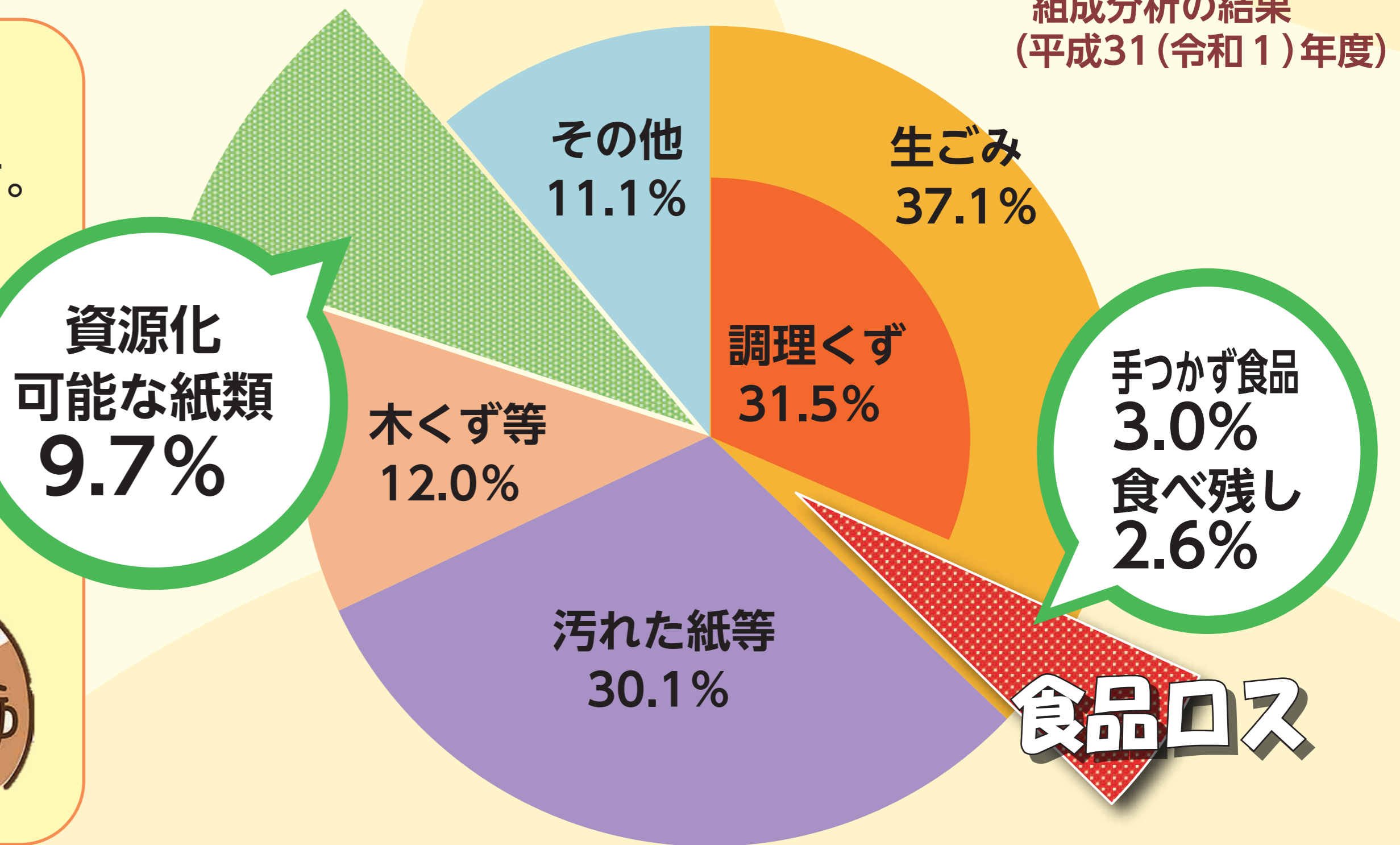


※名刺大以上であっても、感熱紙タイプのレシート、耐水性包装容器、圧着はがき、食品残渣や油のついた紙、不織布(マスク)などはリサイクルできません。

個人情報は油性ペンで塗りつぶすか、切り取って出しましょう。



家庭系可燃ごみの組成分析の結果
(平成31(令和1)年度)



食品ロス

ごみになるものを減らそう

環境にやさしいライフスタイルを実現するために

ごみになるものは、できるだけもらわない、選ばないようにし、繰り返し使えるものを使いましょう。

☆マイバッグを持参しましょう。

【守りましょう!マイバッグ使用の際のマナー】

- 店内では、店に備え付けの買い物カゴを使う。
- マイバッグを店内に持ち込む際は、折りたたむ。
- 精算が済んでから、マイバッグを使う。
- 他の店で買い物をしたマイバッグは、バッグの口を締めておく。



マナーを守って環境にやさしい行動を実践しましょう。



☆シャンプーや洗剤などを買う時には、詰め替え製品を選びましょう。



詰め替え容器製品を1個購入すると約40gのごみ減量になります。

☆使い捨てのはしなどを受け取らないようにし、職場などではマイカップ、マイ箸を利用しましょう。

☆マイボトルを携帯しましょう。



マイカップ



マイ箸

食品ロスを削減してもったいないをなくそう!

手つかず食品や食べ残しなど、本来食べられるのに廃棄される食品ロスは、日本では約600万トン(平成30年度推計)も排出され、これは世界中で飢餓に苦しむ人々に向けて支援される食料の1.4倍の量に当たります。

このような食品ロスの約半分は家庭から排出され、日本人1人当たりで考えると1日約130g、お茶碗1杯分の¹/₁₀のご飯を捨てているのと同じ量になります。広島市でも家庭から出される生ごみのうち約7分の1が食品ロスです。

買い物時には

- ☆事前に家にある食材を確認して必要な分だけ買いましょう。
- ☆使う予定を考え、陳列棚に並んでいる手前のものから買いましょう。

冷蔵庫は整理整頓して食材を見えやすくすると無駄が防げます。



家庭では

- ☆記載された保存方法に従って、適切に保存し、無駄なく使いましょう。
- ☆調理の際には家族の予定なども考慮し、食べきれぬ量の料理を作りましょう。

外食時には

- ☆食べきれぬ量を注文しましょう。
- ☆料理はおいしく食べきりましょう。

形が悪くても、味に違いはありません。形が悪い野菜を率先して買うことで、売れ残りを防ぎ、食品ロス削減に貢献できます。

量が多いと思う時には小盛メニューやハーフサイズを選びましょう。



1回に使う量ごとに分けて保存し、無駄なく消費しましょう。



クックパッド「消費者庁のキッチン」で参考レシピを検索できます。



「一品足りない!」と思っても買い足さず、冷蔵庫に余っている食材などを使って、工夫したメニューを作ってみてはどうでしょう。



お問合せ

広島市環境局業務部業務第一課
TEL:(082)504-2748 FAX:(082)504-2229
E-mail: gyomu1-shido@city.hiroshima.lg.jp

